

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名						図書館維持管理事業						教育部	
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館				図書館		
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを						管理係	

1. 事業の概要(Plan)

目的	図書館利用者の安全と衛生を確保し、便利で快適に図書館を利用できるようにする。				
内容	施設の修繕及び保守点検並びに館内の清掃、衛生管理を行う。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	冷暖房空調保守点検回数	図書館が委託する冷房保守点検の回数	目標	2	2	2	回	
		実績	2	2				
成果指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	館内外からの衛生・美化に関する苦情	館内・敷地内の衛生・美化に関する市民からの苦情を受けた件数	目標	0	0	0	回	
		実績	0	0				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費
事業費(千円)	R4決算額	R5決算額	R6予算額	R7予定額	R8予定額			
総事業費	40,485	39,341	38,746	39,940	39,940			
事業経費	35,165	32,501	31,906	33,100	33,100			
特定財源	141	176	180	180	180			
従事常勤職員数	0.70	0.90	0.90	0.90	0.90			
従事非常勤職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
概算人件費	5,320	6,840	6,840	6,840	6,840			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	施設全体の経年劣化が進んでいるため、定期的な施設点検を行い、維持管理に取組む必要がある。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	政策的意思決定を必要とするため。
	有効性	指標の実績	達成できた	想定どおりのサービスを提供できた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	なくてはならない事業のため。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	開館から23年が経過し、経年劣化による施設の修繕が増える傾向にあるので、計画的な設備の更新が必要である。公共施設等マネジメント実施計画に沿って長寿命化を図り、施設の維持補修を実施する。
今後の取組み	適正な施設の点検及び修繕を行うことにより、安全と衛生の質を落とさず、快適な空間として図書館を利用できるようにする。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名						図書館協議会運営						教育部	
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館				図書館		
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに									管理係	

1. 事業の概要(Plan)

目的	図書館法第13条の規定に基づき、館長の諮問に応ずるとともに図書館サービス等について館長に対して意見を述べる。				
内容	委嘱した10名の委員からなる図書館協議会を開催する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	開催回数	1年間に開催した図書館協議会の回数	目標	2	2	2	回	
		実績	2	2				
成果指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	協議会出席者	図書館協議会に参加した委員の延べ人数	目標	20	20	20	人	
		実績	14	17				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費
事業費(千円)	R4決算額	R5決算額	R6予算額	R7予定額	R8予定額			
総事業費	1,447	1,447	1,456	1,456	1,456			
事業経費	79	79	88	88	88			
特定財源	0	0	0	0	0			
従事常勤職員数	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18			
従事非常勤職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
概算人件費	1,368	1,368	1,368	1,368	1,368			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	図書館運営の根幹をなすものである
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	政策的意思決定を必要とするため。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	想定どおりのサービスを提供できた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標をほぼ達成できた	
	手段の妥当性	妥当	なくてはならない事業のため	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	適切な時期に協議会を開催し、多くの意見をいただくことが課題である。
今後の取組み	年2回のペースで協議会を開催し、図書館運営に対して委員からの提言を取り入れ、安全で快適な学習空間を利用者に提供できるように努める。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名						映画会開催事業						教育部	
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館				図書館		
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに									管理係	

1. 事業の概要(Plan)

目的	映画会を開催することで図書館に来館する機会を作り、来館者の増につなげる。				
内容	大人対象の映画会である図書館映画会及び子ども映画会を開催する。ポスターやお知らせ版にて周知する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	映画会開催回数	年間子ども映画会及び図書館映画会を開催した回数		目標	24	24	15	回
実績				27	27			
成果指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	映画会入場者数	子ども映画会及び図書館映画会入場者数		目標	360	360	230	人
実績				409	389			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費
事業費(千円)	R4決算額	R5決算額	R6予算額	R7予定額	R8予定額			
総事業費	1,657	1,964	2,210	2,210	2,210			
事業経費	437	364	610	610	610			
特定財源	0	0	0	0	0			
従事常勤職員数	0.10	0.15	0.15	0.15	0.15			
従事非常勤職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20			
概算人件費	1,220	1,600	1,600	1,600	1,600			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	多くの市民に図書館に親んでもらい、来館者を増やすことにより、利用率が高められる
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	イベントの委託は可能だが、著作権の関係もあり市が推進すべき
	有効性	指標の実績	達成できた	実施回数及び入場者が目標を上回り来館者増に繋がった
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	図書館の来館者数が増加した	
	手段の妥当性	見直しの余地あり	社会情勢やニーズを踏まえ見直しの必要あり	
	事業の方針	見直しを検討	令和6年度見直し	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	著作権や予算の関係で上映作品に限られる中で、新たな入場者の確保につなげられるようなPR方法や作品の選定が課題である。また、様々なコンテンツにより映画に触れる機会が増えたことに伴い、図書館映画会のニーズを把握し適切な開催時期や回数を検討していく必要がある。
今後の取組み	市民の興味を引く作品を選定して映画会を開催することで、図書館そのものの利用者増に繋げていく。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名		資料選定購入事業					教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館	図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに					サービス係

1. 事業の概要(Plan)

目的	市民の教養、調査研究に応えるため、資料を選定購入し、利用に供することにより、教育文化の向上を図る。				
内容	下妻市立図書館資料収集方針及び図書館資料収集計画(年次作成)に基づき資料を選定購入し、市民の利用に供する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	新刊案内、展示会等による選定回数	新刊案内等による選定本および展示会等による見計らいによる選定回数	目標	50	50	50	回	
実績	52	55						
成果指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	図書館資料点数	所蔵されている資料点数	目標	215,500	219,000	225,000	点	
実績	217,945	222,008						
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費
事業費(千円)	R4決算額	R5決算額	R6予算額	R7予定額	R8予定額			
総事業費	17,137	17,137	17,137	17,137	17,137			
事業経費	10,037	10,037	10,037	10,037	10,037			
特定財源	107	105	96	96	96			
従事常勤職員数	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45			
従事非常勤職員数	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60			
概算人件費	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	社会情勢の変化にかかわらず、恒久的なものである。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門的知識と継続的なサービスを提供する必要がある。
	有効性	指標の実績	達成できた	指標目標のとおり提供することができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	専門知識が必要かつ効率が良い。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	利用ニーズが高く、購入から20年以上が経過し、状態が悪い資料や、修理回数の多い資料の買い替えが必要である。
今後の取組み	新刊案内や展示会を利用し、資料の幅広い知識・情報を得るとともに、利用ニーズを把握し、よりよい資料を選定し、蔵書とする。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名	蔵書管理事業					教育部	
						図書館	
	総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに					

1. 事業の概要(Plan)

目的	計画的に蔵書を管理し、利用者の要求に対し、適切な資料を提供することにより、教育と文化の向上を図る。				
内容	資料の修理・装備により良好な資料状態を維持し、書架整理・蔵書点検でより適切な資料の提供を行う。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	蔵書数	蔵書点検時の資料所蔵数		目標	212,000	219,000	226,000	点
実績				217,945	222,008			
成果指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	蔵書点検対象数	蔵書目録と蔵書を照合(年1回)		目標	211,000	217,000	224,000	点
実績				215,330	217,323			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費
事業費(千円)	R4決算額	R5決算額	R6予算額	R7予定額	R8予定額			
総事業費	8,399	9,849	10,509	10,509	10,509			
事業経費	999	929	1,589	1,589	1,589			
特定財源	0	0	0	0	0			
従事常勤職員数	0.55	0.75	0.75	0.75	0.75			
従事非常勤職員数	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40			
概算人件費	7,400	8,920	8,920	8,920	8,920			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	図書館運営の根幹をなすものである。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門知識と継続的なサービスが必要である。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	想定どおりのサービスが提供できている。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	専門的知識が必要、かつ効率が良い。	
	事業の方針	継続	現状維持。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	蔵書点検を実施するにあたり、2週間程度の休館を要しているが、所蔵資料数が増えるに従い、蔵書点検対象数も増えることから、計画的・効率的な作業が求められる。図書館ボランティアの協力を得つつ実施しているが、日数が不足する恐れがある。
今後の取組み	スムーズな蔵書点検を実施するため、日常的な書架整理により資料の所在を明確にしておく。また、資料修理や書架整理において、図書館ボランティアの協力は不可欠であるため、良好な関係を維持する。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名						図書館カウンターサービス事業						教育部	
総合計画の体系		目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館				図書館		
SDGs目標		4	質の高い教育をみんなに									サービス係	

1. 事業の概要(Plan)

目的	資料の貸出・返却・読書相談等に応じ、利用者の読書欲を満たし、利用者の増を図る。				
内容	貸出・返却を迅速かつ適切に行い、未所蔵資料について、相談に応じ、他館との相互貸借により提供する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	利用者数	図書館来館者数	目標	100,000	130,000	135,000	人	
		実績	127,667	133,742				
成果指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	貸出点数	図書、CD・DVD等の貸出点数	目標	200,000	200,000	200,000	点	
		実績	203,579	187,478				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費
事業費(千円)	R4決算額	R5決算額	R6予算額	R7予定額	R8予定額			
総事業費	18,356	18,061	20,902	20,902	20,902			
事業経費	7,576	6,369	9,210	9,210	9,210			
特定財源	0	0	0	0	0			
従事常勤職員数	0.45	0.57	0.57	0.57	0.57			
従事非常勤職員数	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20			
概算人件費	10,780	11,692	11,692	11,692	11,692			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	社会情勢の変化に関わらず、恒久的なものである。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門的な知識及び継続的なサービスが必要であるため。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	コロナの5類移行に伴い、お家時間が少なくなったことによると推量する。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小経費で指標目標をほぼ達成している。	
	手段の妥当性	妥当	専門的知識が必要かつ効率がよい。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	貸出数は児童書、一般書ともに減少傾向にある。月別にみると微減傾向にあり、登録者数は増えているものの、1人あたりの貸出冊数が少ないと思われる。しかしながら、来館者は増加傾向にあり、館内で読書する利用者が増え、館内滞留時間も増加している。
今後の取組み	来館者の増加傾向を維持しながら、貸出数の増を図り、利用者目線でのカウンター(窓口)対応、資料配架、館内整備を行い、居心地のよい空間をつくる。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名	特集展示サービス事業					教育部	
						図書館	
	総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	5. 図書館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに					

1. 事業の概要(Plan)

目的	所蔵する資料の中から、テーマ別におすすめ図書を選定し、特集・展示する。				
内容	より多くの利用者に借りられるテーマとし、こまめに展示を切り替える				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	特集企画の回数	テーマ別の特集企画数		目標	12	12	35	回
実績				12	32			
成果指標	指標名	説明	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	
	展示架の切替回数	児童書・一般図書の展示架の切替回数		目標	12	12	12	回
実績				12	12			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	4 図書館費
事業費(千円)	R4決算額	R5決算額	R6予算額	R7予定額	R8予定額			
総事業費	2,270	2,270	2,270	2,270	2,270			
事業経費	50	50	50	50	50			
特定財源	0	0	0	0	0			
従事常勤職員数	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05			
従事非常勤職員数	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80			
概算人件費	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	1テーマで提供することで利用者の本選びの助けとなるため必要性は高い
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門的知識を必要とするため。
	有効性	指標の実績	達成できた	想定どおりのサービスを提供できた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小経費で、指標目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	資料の利用率が高められるため。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	限られたスペースを利用し、特集展示を実施しているが、常設特集、長期特集、定期特集のみでスペースが埋まってしまう月がある。また、期間中、すべての資料が貸出中になってしまうことがある。
今後の取組み	特集テーマを深掘りし、魅力的な資料を揃えられるよう、職員の質向上を図るとともに、利用者のニーズに沿ったテーマで実施していく。